海峡都市関門DMO

代表理事 巌洞秀樹

関門海峡は、
本州と九州の間にある
観光エリアです。

関門DMOは、関門海峡を中心とした
北九州市と下関市における地域連携に
よる観光振興の組織です。

門司港
700m
下関

本州
下関市
九州
門司港
Kanmonkaikyo Mekari
関門海峡めかり
Shimonoseki
下関
Mojiko
Moji
門司
山陽新幹線
北九州市

関門DMOでは地域の観光資源となる9つの指定管理施設の支援を実施しています。
施設への来訪者を増やすだけではなく、施設を活用した観光施策など
地域全体への観光の波及を目指し活動しています。

世界最大の

英文週刊ニュース誌「TIME」

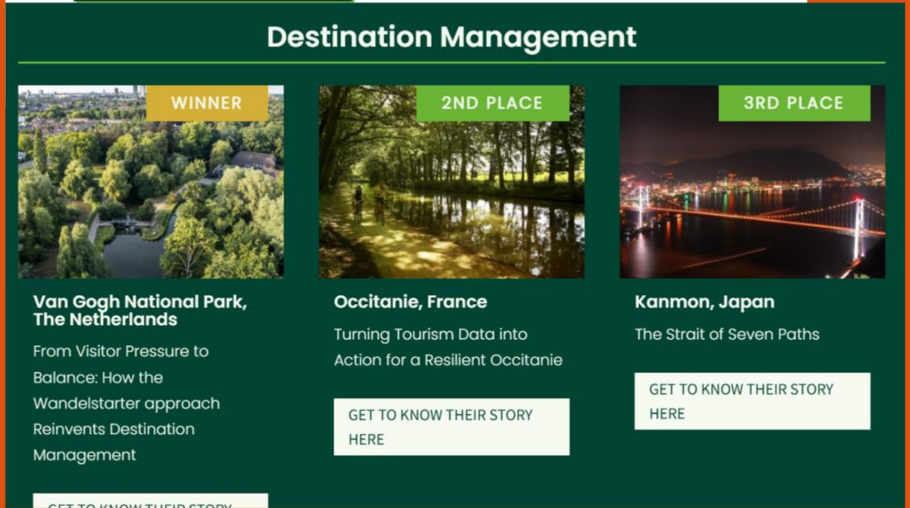
2026年

世界で最も素晴らしい場所

「リゾナーレ下関」選出

持続可能な観光
Green Destinations TOP100

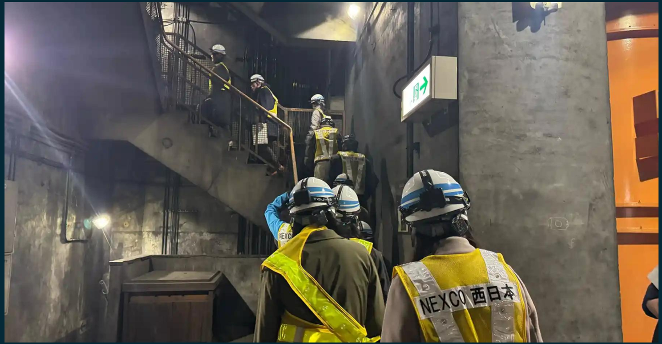
地域マネジメント部門
世界TOP3獲得



インフラツーリズムの推進

JR九州 関門鉄道トンネルのバックヤードツアー

NEXCO西日本 関門トンネルバックヤードツアー



インフラツーリズム連絡会議の開催（DMO主催）

地方整備局・運輸局・行政交通事業者・インフラ関係者が一同に介する連絡会議。

じゃらん リサーチセンター PRODUCED BY RECRUIT

経緯などを取材頂いてます。
参考にご覧ください。

インフラが繋ぐ、行政区を超えた持続可能な観光地域づくり ～関門DMO「Green Destinations」世界第3位受賞までの軌跡～

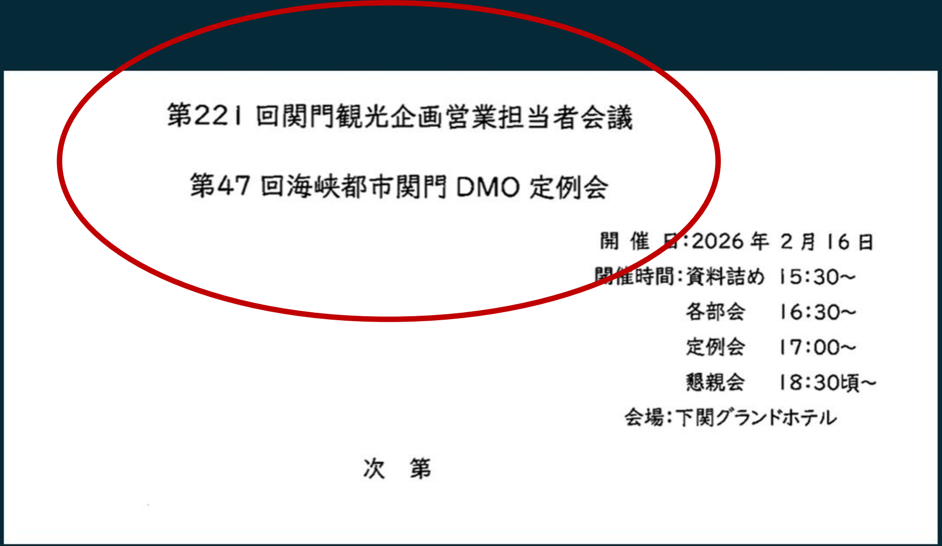
https://jrc.jalan.net/research/7504/

関門観光企画営業担当者会議

各施設の稼働率・入込客数・売上などを
前月比・前年対比で報告。
各施設の施策や観光客の動向などを共有。

- 毎月開催
- 下関市・北九州市の民間企業が参加
- オブザーバーとして両行政が参加
- 企画/営業の担当者が参加
- 開催場所は参加者の施設を持ち回り
- 会議後の懇親会付き

関門観光企画営業担当者会議



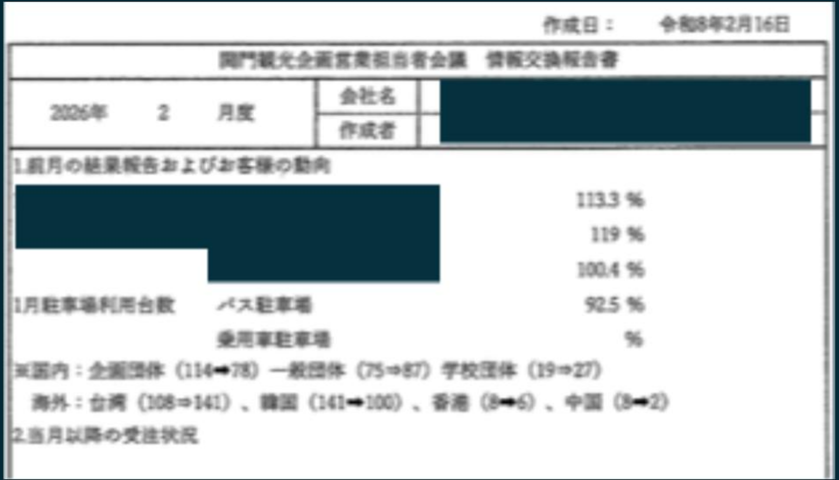
第221回関門観光企画営業担当者会議

第47回海峡都市関門DMO定例会

開催日:2026年2月16日
開催時間:資料詰め 15:30~
各部会 16:30~
定例会 17:00~
懇親会 18:30頃~
会場:下関グランドホテル

次第

10年以上も会議を継続



作成日: 令和8年2月16日

関門観光企画営業担当者会議 情報交換報告書

2026年 2 月度		会社名	[redacted]
		作成者	

1.前月の結果報告およびお客様の動向

[redacted] 113.3 %
119 %
100.4 %

1月駐車場利用台数 バス駐車場 92.5 %
乗用車駐車場 %

※国内:企画団体(114➡78)一般団体(75⇒87)学校団体(19⇒27)
海外:台湾(108⇒141)、韓国(141➡100)、香港(8➡6)、中国(8➡2)

2.当月以降の受注状況

各施設の利用状況を報告

各関係者との協働関係の構築

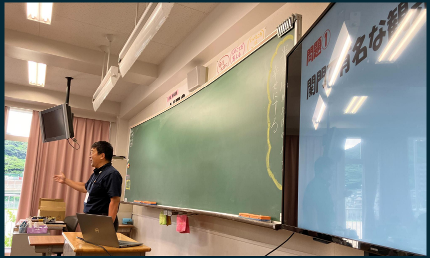
関門DMOは100%民間主導の組織であり、
行政および地域からの信頼と実績は0からのスタート

▼

事業を一緒に推進してもらう事業者との
信頼関係の構築がDMO最大の課題でした。

DMOは事業実施だけでは地域理解は得られない

様々なレイヤーで観光教育・勉強会を実施

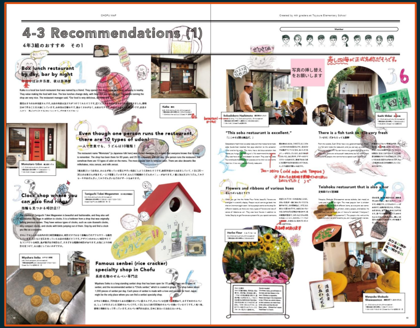


高校や大学での授業
（非常勤講師）

地域のスタートアップとの連携

キッザニアと連携した
地域の職業体験

持続可能な観光勉強会
（官民連携）



地域の子どもたちを中心
とした観光授業の実施

小学校と連携した
観光ガイドブック作成授業
（教育委員会と連携）

教育機関や子どもたちの信頼は
親や地域事業者の信頼に繋がる

地域内に存在する様々な組織との連携

課題：信頼関係の構築と観光資源の活用の両軸で事業を推進していく必要があった。

日本遺産・建築	港湾	国立公園
▼	▼	▼
日本遺産協議会 （教育委員会・文化企画課）	港湾局	環境関連部署
文化財保護や教育観点が中心	港湾管理やクルーズ受入整備	ネイチャーポジティブ

観光が本業ではない多様な人材とDMOが連携することで
マネージメント体制を構築することができた

人材の確保・教育

課題：新規プロパー職員や出向職員の採用が難しい。
　　DMOとしては誰でも良いわけではなく、組織のマインドにあった人と仕事をしたい。

人材の確保 （専門アドバイザー契約）	国・行政・企業のOBなど、専門分野に特化した人を「専門職」としてパートナー契約。 また、専門分野に特化した方に業務委託などでアドバイザー契約を実施。
教育支援 （インターンの採用）	インターンの採用を開始。これは、将来的にDMOに就職を希望するのではなく、 地域事業者へ私たちが教育した人材を輩出していく。（2026年6月より開始）
DMO職員のスキル向上	・外部専門機関（事業構想大学院大学など）への参加 ・セミナー・勉強会など外部のカリキュラムへの参加 ・地域視察や他DMOとの交流を実施 ・毎週DMO内の定例会を実施し、業務進捗共有にあわせて勉強会を実施。 ・観光庁で公開されている様々な事業報告書の読み合わせ会なども実施。